

## 第2回榛原地域小学校の統合について協議する会議事録【概要】

R8.2.25 19:00~21:00

宇陀市榛原総合センター 大ホール

### 1 開 会

### 2 教育長挨拶

### 3 議 事

#### (1)榛原地域小学校の統合について

- ・統合後のスクールバス運行について 資料1
- ・小中一貫教育(小中一貫校)について 資料2
- ・3小比較表(児童生徒人口分布図含む) 資料3

#### 【事務局より】

- 資料1、資料2については、前回の協議会で委員から質問のあった内容として説明を行う。
- 資料3については、前回の協議会資料として配布したが、人口分布図の数値の訂正について説明を行う。
- 第2回の協議会までにいただいた、地域や保護者からのメールや手紙の内容を報告する。
- 議事に入る前に、再度、協議会の趣旨等の説明を行う。
- 事務局より、宇陀市学校適正化基本計画で統合先を榛原小学校にした経緯について説明する。

#### 【委員からの意見等】

- ・宇陀市の公共施設等で、小学校、中学校が何割占めているか、ご存知ですか。2割あります。ということは、いくつかは残すというのではなく、1校取り壊して、そこに建て直した方が、その時には費用がかかるかもしれませんが、長期的なことを考えたら、そちらの方が安くなる。学校を宇陀市全体で考えていただきたい。榛原地区だけじゃないですよ。宇陀市で考えていただきたい。子どもたちのふるさは宇陀市です。今はこうやって、協議しているだけで令和9年にやりますかって統合はできないです。そのあたり、3年遅れた分3年遅れてしまいます。だから、今年度でこれを解決しないことにはどうにもならない。
- ・市議会議員が何でどういうふうに反対したのかという理由もよくわかりません。議会の議事録を見ても、どういうふうな理由で反対したのか書かれていない。省略されているんです。ここの小学校を残したい、市議会議員やっているから小学校を残したいんですか。そうじゃないと思います。
- ・資料を見ていたら、榛原小学校に統合したいというのがわかる。バスは無理して入れることはないですけど、通路的にはかなり障害があるのかなというのが1点と、駐車したり、児童を安全に降ろしたりして、登校できるスペースは本当にあるのかと。それと、おそらく遠方からかなりの保護者の方が行事に来られるけれど、その駐車場をどのように確保されるのかな。話の進め方はおそらく榛原小でということであろうし、答申を受けて、事務局側でかみ砕いて答えを出していくって言うておられたので、おそらくそういう形になっていくのかわかりませんが。
- ・榛原幼稚園と西幼稚園が統合する際に、バス1台入るだけで、近隣の住民からクレームがあって、バス通学の子だけ教育の時間を短くするということになったことがあったんですけど、それを小学校に6台も7台も入るとなったら、あの狭い道で、一番通勤が混む時間帯でそんなに台数が入ると思われないうし、近隣住民から理解が得られるとも思えないです。奈良交通の榛原駅のロータリーに降ろすという案を聞いたことがあるんですけど、そうなると、バス通学の子だけ、とても通学時間

が長くなるように思います。

(事務局より)

○バス通学につきましては、今おっしゃられたような、ロータリーの案というの、実際にこちらの1つの案として検討しているところです。実際、バスを入れることについても、以前そういうふうなお話があったことも、お聞きをしております。バスを止めた場所から歩いている学校もありますので、あらゆることを考えながら、対応の方法を考えていきたいと思っているところでございます。

・放課後児童クラブ、学校施設内にありますよね。それはできるのかどうか。これは児童福祉になるので、教育委員会とは別の話ですけど、学童の話も一緒に考えていただかないと進められないので、どう考えておられるのか。

(事務局より)

○学童については、榛原小学校に移った場合というのは考えておりました。その時は、榛原幼稚園が、今度の4月から新しいこども園ということで、廃園ということになりますので、榛原幼稚園の方を改修して、そちらへ学童に入らせていただくというような計画を考えておりました。

・おそらく各地域の声を反映されていると思うんですけど、まだこの段階でどうやこうやと意見を集約していくのは、何となく時期早々過ぎて、何も煮詰まっていない段階だと思います。例えば、検討するデータのない状態で、今の段階で少し酷なような気がします。あまりよろしくないのかな。もう少し、資料データをもらって、これならしょうがないって、委員会としてはそれが一番いいのかなと。

・もう榛原地区ってこだわらなくていいのではないかな。内牧だったら菟田野に近い。笠間やったら大字陀でもいいじゃないですか。距離的にはバスで通うのだったら影響がないじゃないですか。そういうふうに分散して考えて、どこに学校を置かなあかんって考える必要はないのかなと。それを理解した上で、前回の協議会で意見のあったように、学校は新しく建て直すということも視野に入れた上で考えないことには。

・前の統合の検討委員会の中では、榛原小学校に統合しますという話は出てないですよ。それを考えられたのは、教育委員会で考えられて、あの答申の中に謳ったわけです。だから、それぞれ今の議会もそうですけど、答申出したにもかかわらず、答申を否定されたんですよ。結局議員が、住民が一生懸命考えたことに対して否定したんですよ。だからその否定された理由を教えてくださいと言っているんですけど、教えてくれないんです。

・今までの検討経過を、きっちりもう1回、言ってもらわないと。全部言ってもらってないんじゃないかと。そういう中で検討すると言われても、なかなか難しいのではないかな。

・多分、統合したら、子どもたち、とんでもないことになるんじゃないかと思います。不登校の生徒も増えるのではないかと思います。統合についても、やはり、段取りや順番があって、それぞれもう一度考え直す方がいいのではないかという思いがしています。

・小学校の中で急遽、保護者向けにアンケートをとらせていただいたんですが、統合に反対か賛成かっていうのも聞いた上なんですけれども、大体半々ぐらいという印象を受けました。統合してもいいけど、早く決めて欲しいという、今まで統合するって言って保育園幼稚園別れたけど、お子さんの中にも不安もあるし。統合するなら統合するで、人数が少ないのもう仕方がないっていう部分もあるんですけど、地域の方々もとても繋がりが強いので、小学校がなくなって欲しくないっていう気持ちもいっぱいあります。小規模校として残してもらえたら、それでもありがたいけれども、それならどこかに新しく建てて、みんな一緒になるのは仕方がないとい

う感じもあるので、そのあたりもう1回検討し直してもらって、きちんと決めて欲しいです。

・小規模特認校について、小学校それぞれの雰囲気とか、友達関係、上下関係、その良さを踏まえて、人数だけじゃなく、地域とのつながりを踏まえて、保護者の皆さん、この学校どうだろうというのをすごく気にしているので、一つの学校だけっていうのではなくて、学校が選択できるようにして欲しいです。

(事務局より)

○一定の条件のもと、学校区、自分の居住地以外の学校に行っていただくという制度もございます。これは指定校の変更という形になっています。指定校の変更には、条件や決まりを定めていまして、該当する方については、指定校を変更していただいています。

・前回の協議会で、2校になりませんかという意見を出させてもらって、答申があるんで厳しいということだったので、それぞれの小学校の特徴を見たときに、東小出身で卒業してるんですけど、やっぱり特徴があって、通学するのにすごく安全なんです。田んぼがあって、自然があって、街の中心地にあるのか、少し離れているのかということで、学校の雰囲気が少し違うと思います。

・結局は、校舎の建て替えとか改築どうのこうのんですけど、教育長さんはじめ、教育委員会の方々がここ榛原に榛原小学校にそれを持ってくるっていう、大きな目標や目的は何かって思ったら、一つにするとしたらより予算的に少なく済むっていうふうな判断をされているんじゃないか。

・いざ、小学校に入れようとする子育て世代の保護者の皆さんとかが、それぞれちゃんと我が事のようにして考えられるような示し方が今まであったのかどうか。我が事のように、一応頭に入れてください、心づもりしてってくださいっていう、そういうことがずっとない状態で、そこまではっきりしたことがない状態で、もう決まっている。多分そこで、それを出されたら、当然、地域の人たちは、絶対自分のところでいたいっていうような人も出てくると思います。

・やはりクラスの人数が少ないよりは、ある程度の人数がいる方が、生徒や児童のこれからの将来、社会出て行くときには、当然それの方がいい面が多いとは思いますが。

・子どもがいかにも良い環境の中で過ごしていただいて、次のステップに進んでいくかということ、まず第1に考える必要があるかな。自分の子どもが少人数の学校からいきなり大規模校に入ったわけです。あの時はかなわなかったというふうに言ってます。何を言いたいかと言いますと、やはり貴重な小学校6年間、中学校3年間、その貴重な期間をですね、いかにもいい環境のもとで、教育も含めて学校生活、クラブ活動もありますけど、そういうところで、過ごせる環境を作ってあげるかということは、我々に課せられた大きな責任というふうに思います。

・いろいろ話を聞いておきますと、何か元へ戻ってる話がたくさんあったわけですけど、やはり進んだ話の中で、進めていかないと。第1回目の協議会で、4回の会議で方向性を決めて、この協議会の答え、結論については尊重するというふうなことを1回目の会議で聞きましたので、やはり前進のある会議をして子どものためにしていただけるというふうに思っております。

#### 【会長まとめ】

・様々な方向性からのご意見を出していただけたというふうに思います。この協議会に関わりましては、今日はまず、統合先という部分に関わっての検討の面から、いろんな幅広い視点でのご意見をいただいた。もう1つの統合時期という部分も踏まえて、この協議会としては、その部分を決めていくというところが、一番の大きな内容と

しています。一方で、委員の皆様の見解にもありましたように、子どもたちのため、やっぱり協議会の内容というか、進めていく、決定を用意していくっていう部分も、同時に必要なのではないかなというふうに思います。その部分を、次回の第3回で、ある程度、協議会としての合意形成という形で進めていければと考えています。まだ様々ご意見をお持ちの部分もあるかと思いますが、また第3回で聞かせていただきながら、前に進むという形をぜひ取れればと思いますので、ご協力をお願いできればと考えております。皆様のご協力によりまして、様々ご意見いただきましたことを感謝いたします。また事務局の方では、今回の意見を踏まえて、よい方向性というものをぜひ出していただけたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

#### 4 連絡事項

- ・委員の任期について
- ・3回目の開催日時について → 令和8年5月29日(金)19時から

#### 5 閉 会